

おおふな

2024年8月7日 No.5

発行者:小林 洋一 編集:情宣部

J R 東 労 組

大 船 支 部

広島原爆投下から79年



1945年8月6日に広島、9日には長崎に原爆が投下されてから今年で79年を迎えます。強烈な熱戦と放射線、爆風によって街は一瞬で焼け野原となり、多くの人々が犠牲になりました。命をとりとめた方々も放射線の影響によって、今もなお苦しめられ続けています。

昨年岸田首相は「核軍縮に関する G7 首脳広島ビジョン」を発表し、記者会見では核兵器のない世界の実現に向けた決意を語りました。しかしビジョンの発表からわずか1年も経たない7月28日、政府は日米閣僚級会合を開催し、「拡大抑止」の強化に向けた協議が行われました。「拡大抑止」とは、自国(アメリカ)のみならず、同盟国への攻撃に対しても核兵器を含めた兵器で報復する意思を示し、敵国に攻撃を思いとどまらせることを指します。当然のことながら、核抑止に頼る限り、核兵器の廃絶を実現することはできません。

JR東労組はあらゆる戦争やテロに断固反対です。私たちは平和研修等を通じて、戦争の悲惨さや恐ろしさを学んできました。平和な社会の実現をめざして、19日行動や9条連ニュースの購読、平和研修への参加など、一人ひとりができることから実践していきましょう。